

## 科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 30 年 6 月 22 日現在

機関番号：10102

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2014～2017

課題番号：26381302

研究課題名(和文) アメリカ進歩主義期における特別な教育的配慮の理論と実践に関する史的研究

研究課題名(英文) A historical study on the theory and practice of special educational considerations in the american progressive era

研究代表者

千賀 愛 (SENGA, AI)

北海道教育大学・教育学部・准教授

研究者番号：10396335

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,000,000円

研究成果の概要(和文)：本研究は、1890～1920年代のアメリカで展開された新学校・進歩主義学校の理論と実践を特別な教育的配慮の観点から明らかにすることを目的とした。はじめに進歩主義学校の1つとしてジョン・デューイが娘のエヴェリンによる「明日の学校」(1915)で紹介したインディアナポリス第26公立学校の実践の検討を行い、子どもが主体的に取り組む活動が学業不振問題の解決に寄与していた。第二に、1896年にシカゴで開校したデューイ実験学校の体育と住居教育の実践を分析した。これはインクルーシブ教育の源流という観点から、様々な特性のある子どもが参加できる活動のカリキュラムをどのように創出するのかに関わる実践例であった。

研究成果の概要(英文)：The purpose of this study was to clarify the theory and practice by new schools and progressive schools from the 1890s to 1920s from the view point of special educational consideration. Firstly, as one of progressive schools, the practice of Indianapolis No.26 public school, which was introduced by John Dewey his daughter Evelyne in their book "Schools of Tomorrow" (1915) was examined. This school was a "black public school" in poor district, but pupils and people from community had actively worked together on the practice of repairing school house, improving their lives and leisure activities, and also helping each other. Secondly, I have analyzed the practice of physical education and housing education at the Dewey's Laboratory school which was opened in Chicago in 1896. From the viewpoint of the source of inclusive education, this was an advanced practice concerning how to create a curriculum of activities that children with different characteristics and needs can participate.

研究分野：特別ニーズ教育学

キーワード：特別な教育的配慮 ジョン・デューイ 進歩主義 インディアナポリス

## 1. 研究開始当初の背景

本研究の計画を立案した平成 25(2013) 年後は、日本政府が 2014 年に国連の障害者権利条約への批准の直後であり、インクルーシブ教育や障害の特性に応じた合理的配慮の議論が活発に行われていた。文部科学省によって中央教育審議会に設けられた「特別支援教育の在り方に関する特別委員会」が 2012 年 7 月に報告を公表し、通常の学校・学級における障害の特性に応じた合理的配慮の検討や障害のある子どもと障害のない子どもが共に教育を受けるインクルーシブ教育システムの構築に向けて議論が活性化していた(渡部昭男編,2012)。障害や貧困に伴う様々な困難を背景にもつ子どもの教育は、特別支援学校や特別学級のみならず、適切な支援を受けながら通常の学級で学べるシステムや教育実践をどう構築するかという課題に直面していた。

障害や貧困に伴う様々な困難を背景にもつ子どもの教育の構築という課題に対して、本研究は特別支援教育の観点から歴史的な検討を行うものである。Frost (2010)によれば、19 世紀末から 20 世紀初頭のアメリカ合衆国において、産業化・都市化が進行し、都市には英語を母国語としない移民も大量に流入し、貧困を背景にした子どもの過酷な生活状況に対して 19 世紀末から多様な児童保護運動が始まった。この世紀転換期にはいわゆる新学校・進歩主義学校がアメリカで多く設立されており、学習困難や貧困といった教育的ニーズへの対応がどのように行われていたのかを検討することとした。アメリカの特別教育史の研究では特別学級研究が行われている。ボストンの特別学級史を明らかにした Osgood (2000) は「1880 年代後半から教育と個々の子どものニーズへの関心を強めた」

ことの背景に「科学的と科学的方法を子どもの研究に応用すべきであると考えた G.S.ホールの研究に大きな影響を受けた」とし、ジョン・デューイとともに障害のある子どもが求める個別的な配慮の前提となる「教育の個別化」を推進する一つの契機となったと指摘している。

アメリカの新学校については、佐藤学(1990)が単元学習のカリキュラム改造史のなかで検討されているが、学校が設立された貧困・移民地区の教育的ニーズの実態と学校における教育的対応の視点からは検討されてこなかった。

## 2. 研究の目的

本研究は、1890 年代から 1920 年代のアメリカで展開された新学校・進歩主義学校の理論と実践を特別な教育的配慮の観点から明らかにすることを目的とした。

## 3. 研究の方法

本研究は基本的に文献研究であり、1890 - 1920 年頃までのデジタル史資料(シカゴ大学学報、シカゴ市教育委員会年報、ジョン・デューイ著作等)、シカゴ市大学およびコーネル大学の図書館貴重資料室(Special Collection)に所蔵されているデューイ実験学校実践記録・運営関係記録、インディアナポリス市立図書館所蔵の市教育委員会年報・職員記録等を収集・分析した。デジタル化されていない史資料の収集に際しては、イリノイ州のシカゴ大学 Regenstein 図書館貴重資料室、ニューヨーク州のコーネル大学 Kroch 図書館貴重資料室、インディアナ州のインディアナポリス市歴史資料館をそれぞれ訪問して調査を行った。アメリカ教育史の場合、1920 年代前半までの行政関係の資料はデジタル化の手続きが進められているが、学校の実践記録や職員録、理事会の記録、関係者の往復書簡など、デジタル化されていない史資料も多い。行政資料と合わせて分析する事で、より当時の歴史的な脈から明らかにすることが可能となると考えた。

### 【文献】

- Frost, Joe L. (2010) *A History of Children's Play and Play Environments*, Routledge.
- Osgood, R. L. (2000) *For "Children*

Who Vary From the Normal Type, Gallaudet University Press, Washington.

佐藤学(1990)『米国カリキュラム改造史研究-単元学習の創造-』東京大学出版会.

渡部昭男(2012)『日本型インクルーシブ教育システムへの道:中教審報告のインパクト』三学出版.

#### 4. 研究成果

本研究は、1890年代から1920年代のアメリカで展開された新学校・進歩主義学校の理論と実践を特別な教育的配慮の観点から明らかにすることを目的とした。

はじめに進歩主義学校の1つとしてジョン・デューイが娘のエヴェリンによる共著「明日の学校」(1915)で紹介したインディアナポリス第26公立学校の実践について検討を行った。同校は貧困地区の「黒人公立学校」であったが、児童生徒やコミュニティの人々が主体的に校舎を修繕し、家具を整え、自分たちの生活を改善する実践に取り組み、助け合いや余暇活動の充実にも取り組んだ。こうした実践の成果は、退学率の低下や学業不振問題の改善に結びついた。インディアナポリスの公立学校の取り組みについては、論文「『明日の学校』(1915)と貧困地区のインディアナポリス第26公立学校の実践」(千賀:2016)として公表された。

第二に、1896年にシカゴで開校したデューイ実験学校の体育と住居教育の実践を分析した。これはインクルーシブ教育の源流という観点から、様々な特性のある子どもが参加できる活動のカリキュラムをどのように創出するのかに関わる実践例であった。これらの研究成果は、Physical education and curriculum development of early days in Dewey's Laboratory Schoolとしてシカゴで開催された第38回世界教育史学会(ISCHE38)にて口頭発表を行った。実験学校の体育実践については、デューイ実験学校研究者の間でも十分な検討が行われておらず、健康問題や不器用さを抱える子どもへの対応について、体育史の観点からも再評価する可能性があることが分かった。とりわけ脊椎湾曲の子どもに対する矯正体操や学校医と連携した対応は、1890年代に広がっていた医療的な体育と、他の科目の活動とバランスを重視した学校生活の流れを考慮するなど、健康問題への配慮が見られた。矯正体育とボール運動などを組み合わせた体育の授業を行った教師は、実験学校の体育専科であり、当時の初等教育では体育が教

科として認められていなかった状況と比較しても異例であった。

また「デューイ実験学校の歴史授業とシカゴ・フィールド博物館の『住まい』展示活用」として日本デューイ学会で口頭発表を行った(2017年)。住まいの題材は、子どもの生活そのものであると同時に、異なる自然環境の住まいの比較、使われる建材の比較、実際に模型を作る図画工作の活動など、幅広い領域が関わっていた。デューイの実験学校で行われた住まいに関わる教育において、小学校低学年の段階から住居の歴史、気候に合わせた住居、南北の先住民族の暮らしに関する学習を少人数で行う活動で近隣の博物館を頻繁に訪問し、具体的な模型や展示を活用していたことを明らかにした。デューイ実験学校の住まい教育の実践から着想を得て、障害のある子どもとない子どもが参加する学習活動の在り方についても検討を行った(田中・千賀:2017)

#### 5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕(計4件)

千賀 愛、田中宏実、デューイ実験学校におけるシカゴ・フィールド自然史博物館(Field Museum)における「住まい」展示活用、日本デューイ学会紀要、第58号、掲載決定、査読有、2018.

千賀 愛、田中宏実、デューイ実験学校のグループIVとVにおける「住まい」に関する教育実践:小学校のカリキュラム開発のための予備的検討」北海道教育大学紀要(教育科学編)、査読無、第67巻2号、65-76、2017.

田中宏実、千賀 愛、秘密基地づくりを通じた住居教育のプログラム開発 インクルーシブ教育の実践から、日本建築学会学術講演梗概集、教育、講演番号13008、梗概集15、査読無、2017.

千賀 愛 『明日の学校』(1915)と貧困地区のインディアナポリス第26公立学校の実践、北海道教育大学紀要(教育科学編)、第66巻第2号、55-64頁、査読無、2016.

千賀 愛 デューイ実験学校における子どもの多様性と個人差への視座、日本デューイ学会紀要、第55号、127-136頁、査読有、2014.

〔学会発表〕(計4件)

千賀 愛、田中宏実、デューイ実験学校の歴史授業とシカゴ・フィールド博物館の「住まい」展示活用、日本デューイ学会第61回研究大会、2017、早稲田大学.

SENGA, Ai, Physical education and curriculum development of early days in Dewey's Laboratory School,

The 38th annual conference of the International Standing Conference for the History of Education (ISCHE), 2016, Loyola University, Chicago IL.

千賀 愛、『明日の学校』(1915)とインディアナポリス公立学校の学業不振問題への対応、日本デュイ学会第59回研究大会、2015、明星大学。

千賀 愛、デュイ実験学校(1896-1903)の体育におけるコーディネーションの位置づけ、日本特別ニーズ教育学会第20回茨城大会、2014、茨城大学。

〔図書〕(計2件)

千賀 愛 「植民地の歴史と革命：グループVII(10歳)」(第9章)および「成長の原理に基づく活動の選択と試み」(第14章) 『デュイ・スクーラーシカゴ大学実験学校：1896～1930年-』(小柳正司監訳) あいり出版、95-103頁および141-149頁、2017。

千賀 愛、インクルーシブ教育の国際動向(第3章)『新しい特別支援教育のかたち インクルーシブ教育の実現に向けて』(吉利宗久・是永かな子・大沼直樹編) 培風館、23-32頁、2016。

## 6. 研究組織

### (1) 研究代表者

千賀 愛 (SENGA Ai)

北海道教育大学・教育学部・准教授

研究者番号：10396335